

日欧政策セミナーのご案内  
**IoT、3D プリンティングと知的財産：  
欧州と日本の比較分析**

日時	2018年3月1日(木) 13:30~17:30 (受付: 13:00 -)
会場	駐日欧州連合(EU)代表部 (〒106-0047 東京都港区南麻布4-6-28 ヨーロッパハウス)
主催	日欧産業協力センター、園田・小林特許業務法人、Murgitroyd ミュンヘン事務所
言語	英語・日本語(同時通訳あり)
参加費	無料(要事前登録)
参加登録	<a href="https://www.eu-japan.eu/iot3dprinter-ip">https://www.eu-japan.eu/iot3dprinter-ip</a>

### 概要

本セミナーでは、IoTと3Dプリンティングに関連する新しい技術が現在の知財制度からどのような恩恵を受けるかについて、また、どのようにして知財制度を最新技術に適合させるべきかについて取り上げます。セミナーの要点は以下のとおりです。

a) IoTと3Dプリンティングの現状を知的財産の観点から簡単に説明します。さらに、最近のIoTと3Dプリンティングに関連する特許出願や発明を検証し、日本と欧州の審査過程の共通点と相違点を探っていきます。

b) 欧州と日本に注目して、知的財産の国際的枠組みの範囲と限界を概説します。IoTと3Dプリンティングのビジネスに役立つような内容を説明します。

c) IoTや3Dプリンティングがビジネスに与える影響について議論し、知財の世界において新たな議論を起こしたいと思います。

### プログラム

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:30-13:35 | 開会挨拶 Gabriele Lo Monaco 氏(駐日欧州連合代表部通商・経済部、一等書記官) = 予定                  |
| 13:35-14:00 | 「IoTと3Dプリンティングの簡単な紹介、及び日本における特許出願の現状」<br>講演者: 園田・小林特許業務法人弁理士           |
| 14:00-14:30 | 「欧州におけるIoTと3Dプリンティングの現状、及び当該分野の特許出願の状況」<br>講演者: Murgitroyd ミュンヘン事務所弁理士 |
| 14:30-14:40 | コーヒースタンド   |
| 14:40-15:10 | 「IoTに関連する知財制度の新たな課題と日本のビジネスへの影響」<br>講演者: 園田・小林特許業務法人弁理士                |
| 15:10-15:40 | 「IoTに関連する知財制度の新たな課題と欧州のビジネスへの影響」<br>講演者: Murgitroyd ミュンヘン事務所弁理士        |

15:40-16:10 「3Dプリンティングに関連する知財制度の新たな課題と日本におけるビジネスへの影響」  
講演者：園田・小林特許業務法人弁理士

16:10-16:40 「3Dプリンティングに関連する知財制度の新たな課題と欧州におけるビジネスへの影響」  
講演者：Murgitroyd ミュンヘン事務所弁理士

16:40-16:50 質疑応答

16:50-17:25 パネルディスカッション

モデレーター：Luca Escoffier 氏（日欧産業協力センター 日欧技術移転ヘルプデスク プロジェクトマネージャー）

パネリスト：講演者全員

17:25-17:30 閉会挨拶 Luca Escoffier 氏

17:30-19:00 懇親会

**講演者：**

1. 藤井 亮博士（園田・小林特許業務法人、パートナー、日本弁理士）
2. 富樫 義孝氏（園田・小林特許業務法人、パートナー、日本弁理士）
3. 仙波 和之氏（園田・小林特許業務法人、日本弁理士）
4. Robert Boerner 博士（Murgitroyd ミュンヘン事務所ディレクター、ドイツ及び欧州弁理士）
5. Ben Grau 博士（Murgitroyd ミュンヘン事務所、ドイツ及び欧州弁理士）